

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 SN-SV40c	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から 1年
お客様 お名前 ご住所	様 TEL ()
販売店 店名 住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やディスプレイ、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
 ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

SUPER NIGHT

Yupiteru

カメラ一体型ドライブレコーダー

SN-SV40c

取扱説明書

12V車専用

このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

・安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

HDR 搭載

(ハイダイナミックレンジ)

白トビや黒ツブレを抑え、より明瞭な映像を記録します。



⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが書き換えられないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。
- ・電源ONの状態でもmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後、RECランプと画面の消灯を確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS2062-A

確認
注意

基礎知識

すぐに使う

カスタマイズ
して使う

再生する

その他

●重要事項●



必ず 1～2 週間に一度、本機で SD カードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域 (=不良セクタ) が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度SDカードをフォーマット (P.12) することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SDカード内にある録画ファイル(保護したファイル含む)」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。(P.52)

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもメッセージ(P.54)が頻繁に表示される場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。-

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら・・・	10
SDカードをフォーマットする	12

基礎知識

各部の名称と働き	13
1. 付属品	14
2. 別売品	15
3. 付属品・別売品の購入について	15
SDカードの取り外し/装着	16
1. SDカードを本体から取り外す	16
2. SDカードを本体へ装着する	16
各種アイコンについて	17
1. 動画記録モード	17
2. 静止画記録モード	18
3. モード変更のしかた	19
静止画撮影	20
1. 静止画を撮影する	20
録画について	21
1. 常時録画	22
2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)	22
3. 上書きモードについて	23

メンテナンスについて	25
初期値について	26

すぐに使う

本機の取り付け	27
1. 本機を取り付ける	28
2. 電源を接続する	30
別売品の取り付け	31
1. 5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E487)の接続方法	31
2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法	32
3. 電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法	35
電源ON～OFFまでの手順	38
1. 電源ON(録画を開始する)	38
2. 録画を停止する	39
3. SDカードをフォーマットする	39
4. 日時を設定する	40
5. 録画を再開する	41
6. ワンタッチ記録をする	42
7. 電源OFF(録画を停止する)	42

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	43
1. 設定メニューを表示する	43
2. 録画を再開する	44

設定メニュー	45
1. 録画設定メニュー	45
2. システム設定メニュー	46

再生する

再生方法	47
1. 本機で録画ファイルを再生する	47
2. 録画を再開する	48
再生モード	49
1. 再生画面について	49
2. ファイル編集画面について	50

その他

録画ファイルの読み出しについて	52
1. SDカードを直接パソコンと接続する	53
こんなときは	54
故障かな?と思ったら	56
仕様	58
microSDカード対応一覧表	59
1. 録画時間の目安	59
アフターサービス	60
1. お客様ご相談センター	60
索引	61
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**
そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。
＜異常な状態の例＞
 - ・内部に異物が入った
 - ・水に浸かった
 - ・煙が出ている
 - ・変な臭いがする
 すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
 ● P.6「アフターサービス」

- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**
- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**
- ⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

- ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- ➡ 関連するページを示します。

- ⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**
感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**
変色や変形、故障の原因となります。
 - ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
 - ・湿気やほこり、油煙の多い所
 - ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内
- ⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**
破裂、発火や火傷の原因となります。
- ⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**
感電や故障の原因となります。



- ⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。
- ⊘ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**
爆発や火災の原因となります。

- ⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

- ⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)
- ⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**
破損、故障の原因となります。
- ⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**
故障の原因となります。

- ⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。
- ⊘ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**
故障の原因となります。

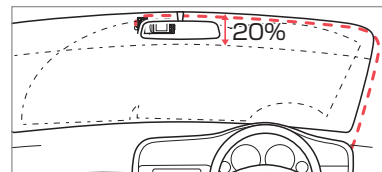


- ⚠ **本機は精密機械です。**
静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

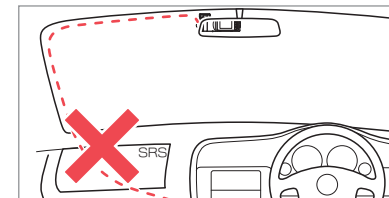
●取り付けについて

⚠ 警告

- ⓘ **取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。**
※フロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。
- ⓘ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。



- ⓘ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

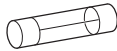
- ❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものとの交換してください。交換ヒューズ2A (20mm × 5.2mm)



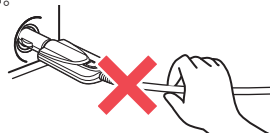
- ❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナースペース専用です。
- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。



⚠ 注意

- ❗ エンジンを止めてもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

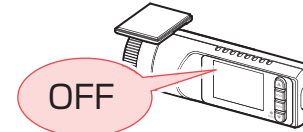
- ❌ シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。



●SDカードについて

⚠ 警告

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。



- ❗ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ❌ 海外ではご使用にならないでください。本機は日本国内仕様です。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中にRECランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

液晶パネルに関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。
- ・ 本体温度が約+70℃になると液晶パネル保護のため液晶パネルが自動的にOFFになりますが録画は継続して行われます。動作温度範囲まで温度が下がると自動的にONになります。

SDカードに関する注意

- ・ SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・ SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ SDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

真夏などの炎天下での注意

- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

他社製品との組み合わせに関する注意

- ・ 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

日時保持用電池に関する注意

- ・ 本機は日時を保持するために本体内部に電池を搭載しています。初めて使用する場合や、長期間(3ヶ月以上)使用していなかった場合は、2時間程度走行して日時保持用電池の充電を行ってからご使用ください。また、日時保持用電池は消耗品のため十分な充電を行っても日時情報が保持されない場合は交換が必要です。お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

SDカードの保管

・保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

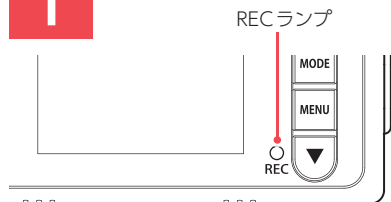


・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

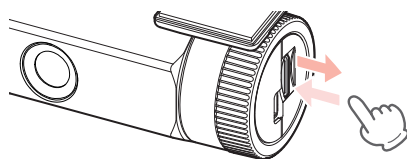
■ 付属品のシガープラグコード接続時

付属のシガープラグコードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、RECランプと画面の消灯を確認してください。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3 SDカードを保管する

■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

駐車時に事故が起きた場合

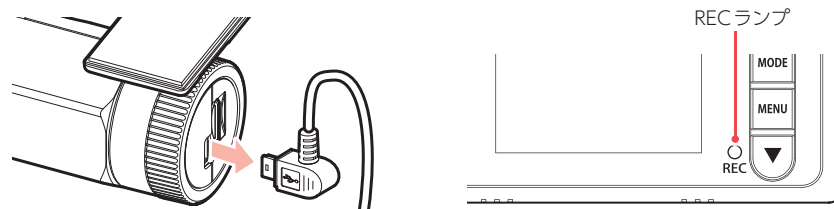
1 車両のエンジンをOFFする



駐車記録を行います。

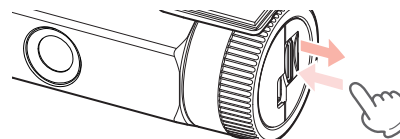
※別売品の設定によっては電源OFFします。

2 本体のDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、RECランプと画面の消灯を確認してください。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、本機でSDカードをフォーマット(初期化)してください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする



録画を開始します。
RECランプが点灯し、録画アイコンが点滅します。

2 MENUボタンを押す



録画を停止します。
※録画停止中は、RECランプが消灯し録画アイコンが消えます。

3 MENUボタンを押す



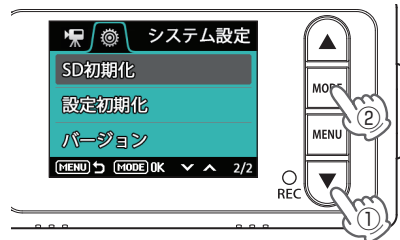
12 録画設定メニューを表示します。

4 MODEボタンを押す



システム設定メニューを表示します。

5 ▼ボタンを押して[SD初期化]を選択し、MODEボタンを押す



6 ▼ボタンを押して[実行]を選択し、MODEボタンを押す



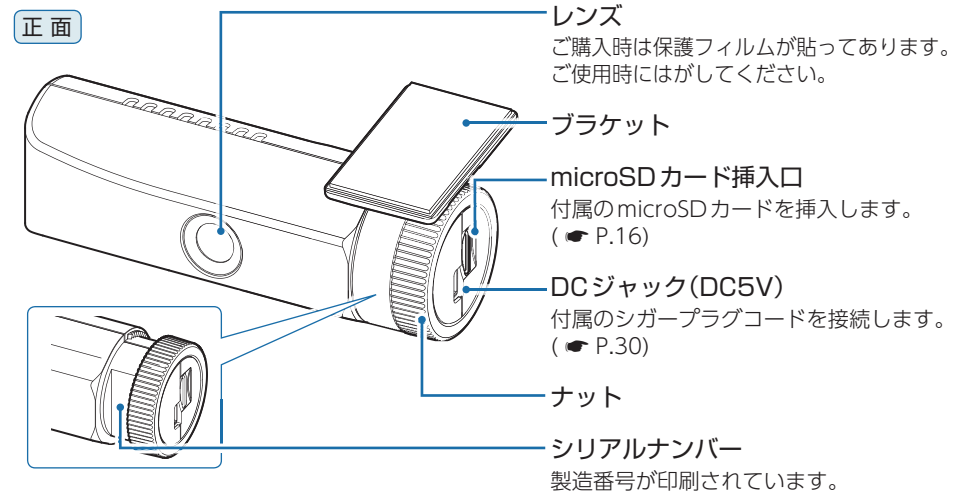
初期化が完了すると、システム設定メニュー画面に戻ります。

※録画を再開する場合は、P.44を参照ください。

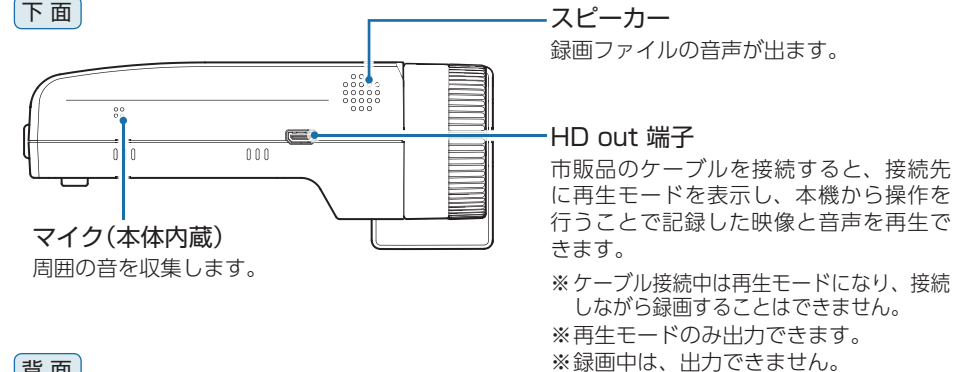
各部の名称と働き

■ 本体

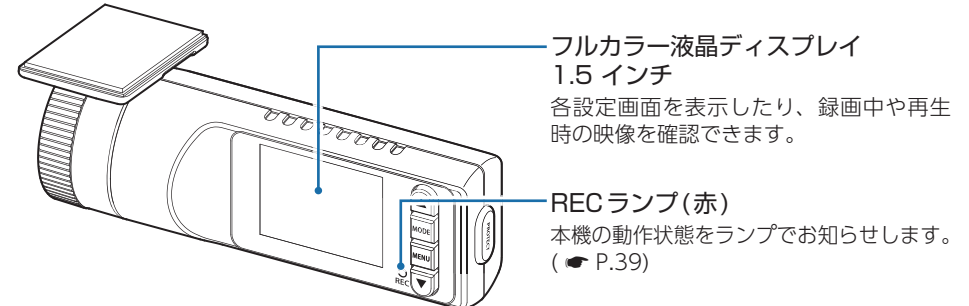
正面



下面



背面



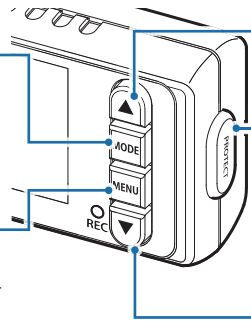
操作ボタン

MODE ボタン

メニューの切り替えや、設定項目を決定します。

MENU ボタン

録画中に押すと録画を停止します。
録画停止中に押すと録画設定メニューを表示します。



▲ボタン

項目の選択や設定値を変更します。

PROTECT ボタン

常時録画中に押すとワンタッチ記録を行います。(P.42)
録画停止中に押すと、録画を開始します。

▼ボタン

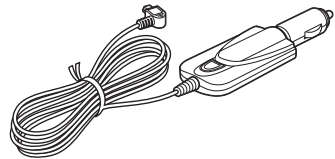
項目の選択や設定値を変更します。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- ブラケット 1
- ナット 1
- microSDカード(8GB) 1
(本機にあらかじめ装着されています。)
- 両面テープ (P.28) 1
(ブラケットに使用します。)
- 取扱説明書・保証書(本書) 1

- 5Vコンバーター付シガープラグコード(約4m) 1



- ・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。
ただし、microSDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

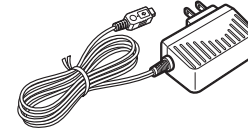
- ・microSDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ ACアダプター OP-E368

本体 3,000円 + 税

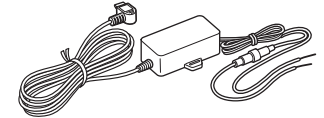
ご家庭で使用することができます。



■ 5Vコンバーター付電源直結コード

OP-E487(約4m)本体 2,000円 + 税

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。(P.31)



■ 電圧監視機能付 電源ユニット*1*2

OP-VMU01 本体 6,000円 + 税

車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(P.35)

- 本体..... 1
- 入力コード..... 1
- 両面テープ..... 1

■ マルチバッテリー*1 OP-MB4000

(12V車専用) 本体 23,000円 + 税

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(最大約12時間)(P.32)

- 本体..... 1
- 入力コード..... 1
- 出力コード..... 1
- 面ファスナー..... 1

*1: 別売品5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E487)が必要になります。

*2: 電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し / 装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class10」以上)

⚠ 注意

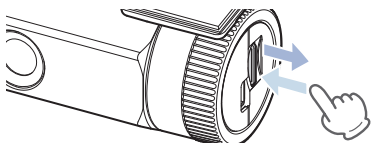
- ・RECランプと画面の消灯を確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SDカードを本体から取り外す

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、RECランプと画面の消灯を確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



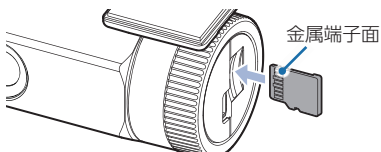
- ※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、RECランプと画面の消灯を確認してください。

2-2 SDカードを挿入する



別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付電源ユニットを接続して駐車記録を行っている場合は、本体から電源コードを取り外し電源OFFしてください。

各種アイコンについて

1. 動画記録モード

常時録画やイベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録)を行います。



<録画停止中>

<録画中>

No.	表示名	説明
①	モードアイコン	動画記録モードアイコンを表示します。
②	解像度	録画解像度を表示します。(● P.45)
③	録画コマ数	1秒あたりのコマ数を表示します。(● P.45)
④	ファイル構成	ファイル構成を表示します。(● P.45)
⑤	HDRアイコン	HDRを[ON]に設定している場合に表示します。(● P.45)
⑥	記録可能時間	記録可能時間を表示します。
⑦	日/時刻	現在の日付と時刻を表示します。
⑧	録画アイコン	録画中に点滅表示します。
⑨	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
⑩	記録時間	録画中は、現在の映像の記録時間を表示します。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
▲ボタン	使用しません。
MODEボタン	録画中は、画面を非表示にします。もう一度押すと画面を表示します。 録画停止中は、モードを変更します。
MENUボタン	録画中は、録画を停止します。 録画停止中は、録画設定メニューを表示します。(● P.45)
▼ボタン	使用しません。
PROTECTボタン	常時録画中に押すと、PROTECTボタンを押した前後の録画ファイルを1ファイルとして、「EVSW」フォルダにコピーします。(● P.22) 録画停止中に短押しすると、録画を再開します。

2. 静止画記録モード

静止画を撮影することができます。



No.	表示名	説明
①	モードアイコン	静止画記録モードアイコンを表示します。
②	撮影可能枚数	残りのSDカード容量で撮影可能な静止画枚数を表示します。

■ 静止画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
▲ボタン	使用しません。
MODEボタン	モードを変更します。(P.19)
MENUボタン	システム設定メニューを表示します(P.46)
▼ボタン	使用しません。
PROTECTボタン	静止画を撮影します。(P.20)

3. モード変更のしかた

3-1 本機の電源 ONを確認し、録画中の場合は、MENU ボタンを押し、録画を停止する



動画記録モードが表示されます。
※録画中は、モード変更ができません。

3-2 MODE ボタンを押す



モードが変更されます。
※MODE ボタンを押すたびに、[動画記録モード]→[静止画記録モード]→[再生モード]にモード変更します。
※再生モードの詳細は P.47を参照ください。

常時録画を再開する

- ①MODE ボタンを押して、動画記録モードを表示する
- ②PROTECT ボタンを押す (常時録画が再開されます。)

静止画撮影

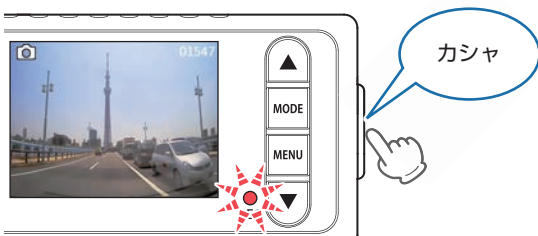
1. 静止画を撮影する

1-1 静止画記録モードを表示する



・静止画記録モードを表示するには…
☛ P.19「モード変更のしかた」

1-2 PROTECT ボタンを押す



REC ランプが2回点滅し静止画を撮影します。

※撮影時に『カシャ』と音が鳴ります。

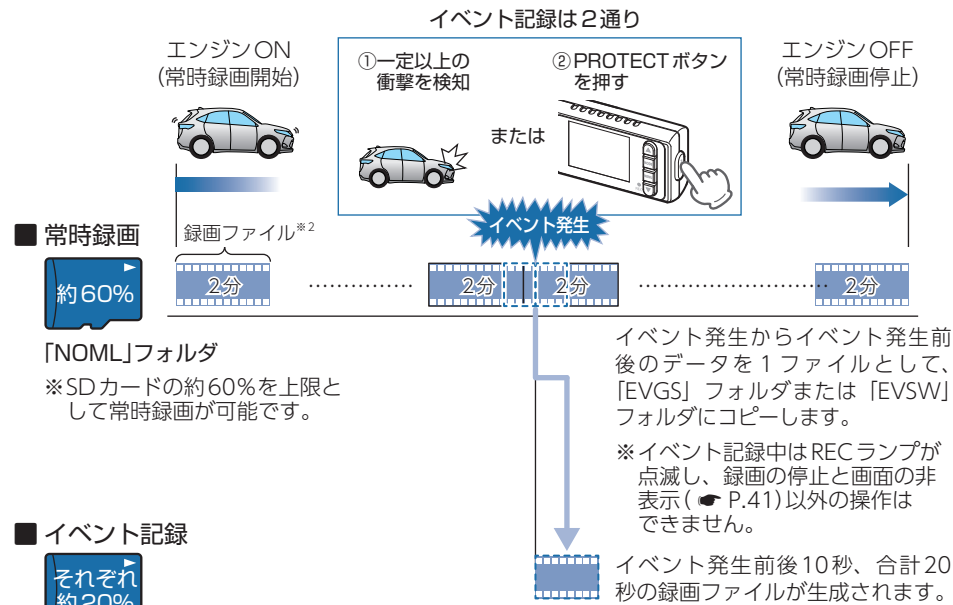
※音量を [OFF] に設定している場合は、音は鳴りません。

常時録画を再開する

- ① MODE ボタンを押して、動画記録モードを表示する
- ② PROTECT ボタンを押す (常時録画が再開されます。)

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



- 「[EVGS]」フォルダ(約20%)…Gセンサー記録
- 「[EVSW]」フォルダ(約20%)…ワンタッチ記録

※SDカードの約20%を上限としてGセンサー記録が可能です。

※SDカードの約20%を上限としてワンタッチ記録が可能です。(☛ P.21)

- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.23「上書きモードについて」)
- ・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されることがあります。
- ・メッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.54)

各記録方法のファイル容量の目安

SDカードの全容量		
常時録画+駐車記録+静止画 60%	Gセンサー記録 20%	ワンタッチ記録 20%

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約2分で生成します。

※設定を変更できます。(☛ P.45「録画設定メニュー」)

・録画可能時間

初期値 (「動画解像度: [1080P HD]」、[録画コマ数: [30FPS]]) で、SDカードの約60%を上限に常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.59)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、SDカード容量の上限 (約60%) に達しても上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.23)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には、Gセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、画面上部にイベント記録アイコンを表示します。

※イベント記録ファイルは、全て保護されたファイルになります。

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約20秒(イベント発生前10秒とイベント発生後10秒)で生成します。

・最大記録容量

- ・SDカードの約20%を上限に、Gセンサー記録が可能です。
- ・SDカードの約20%を上限に、ワンタッチ記録が可能です。

・上書きモード

初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、イベント記録がSDカード容量の上限 (約20%) に達しても上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.23)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、1ファイル単位の映像をSDカードの「EVGS」フォルダにコピーします。

※初期値では[Gセンサー設定: ON]となります。設定で[OFF]にすることもできます。(☛ P.45「録画設定メニュー」)

・Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て[1.0G]となります。(☛ P.45「録画設定メニュー」)

一定以上の衝撃を検知

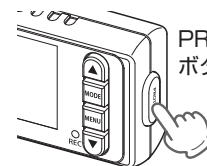


イベント記録アイコン

事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中にPROTECTボタンを押すと、1ファイル単位の映像をSDカードの「EVSW」フォルダにコピーします。



PROTECT
ボタンを押す



イベント記録アイコン

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.45「録画設定メニュー」)

上書きモード	上限に達した場合の動作	
	常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止 録画の停止
常時録画上書き*1	保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続 録画の停止
全て上書き*2 (初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続 上書きして録画を継続

※1: 保護したファイル(☛ P.50)は、上書きされません。保護したファイルを消去する場合は、再生モードでファイルの保護を解除してから消去するか、SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12)

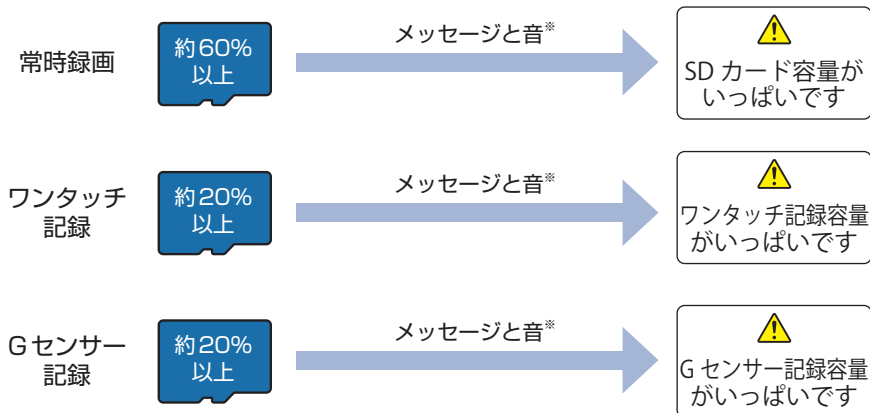
※2: 保護したファイルも上書きします。

■ 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。
例①: イベント記録が最大記録容量に達すると、イベント記録は行いませんが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②: 常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録も記録容量にかかわらず記録しません。

※イベント記録は、常時録画をコピーした録画ファイルです。

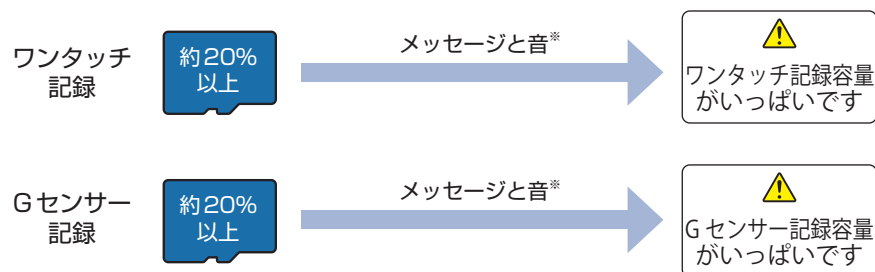


*音はメッセージの開始時に数秒間鳴ります。音量を[OFF]に設定している場合は、音は鳴りません。

■常時録画上書き*1

常時録画は、SDカード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録容量に達した時点で、記録を行いません。



*音はメッセージの開始時に数秒間鳴ります。音量を[OFF]に設定している場合は、音は鳴りません。

*1：保護したファイル(● P.50)は、上書きされません。
保護したファイルを消去する場合は、再生モードでファイルの保護を解除してから消去するか、SDカードをフォーマットしてください。(● P.12)

■全て上書き(初期値)*2

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

*2：保護したファイルも上書きします。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■1～2週間に一度のメンテナンス

⚠ 注意

必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(● P.12)

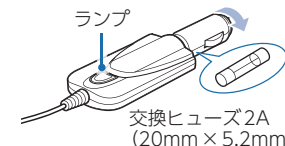
■必要に応じてメンテナンス

- ・付属のシガープラグコードのヒューズ交換
※交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない(シガープラグコードのランプが点灯しない)場合は、シガープラグコードのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ①シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- ②下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・別売品のヒューズ交換

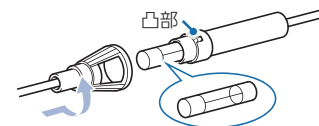
- ※マルチバッテリー(OP-MB4000)：交換用ヒューズ6A(30mm×6.0mm)
- ※電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)：交換用ヒューズ3A(30mm×6.4mm)
- ※5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E487)：交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ①接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ②下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

<OP-MB4000、OP-VMU01>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。

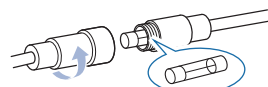


OP-MB4000：交換ヒューズ6A(30mm×6.0mm)
OP-VMU01：交換ヒューズ3A(30mm×6.4mm)

<OP-E487>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



交換ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説明
動画解像度	1080P HD	1920×1080で録画します。
録画コマ数	30fps	1秒あたり30コマで録画します。
ファイル構成	2分	2分単位でファイルを分割保存します。
音声録音	ON	映像と一緒に録音します。
上書きモード	全て上書き	常時録画やイベント記録などの全てのデータがSDカード容量いっぱいになると、古いデータから順に上書きして録画をし続けます
Gセンサー設定	ON	一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。(● P.22「Gセンサー記録」)
Gセンサー感度(X)	1.0G	X(前後方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Y)	1.0G	Y(左右方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
Gセンサー感度(Z)	1.0G	Z(上下方向)の衝撃感度を1.0Gに設定しています。
HDR	ON	白とびや黒つぶれを抑え、より明瞭な映像を記録します。
音量	3	本機の音量を[3]に設定しています。 ※音量は録画ファイル再生音、起動音、操作音、メッセージの音、静止画撮影時の音に反映されます。
画面自動オフ	常時ON	画面は常にON状態です。

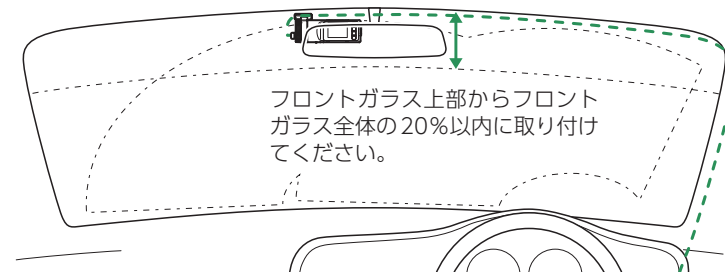
※初期値を変更する場合は、● P.43～46「カスタマイズして使う」を参照してください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

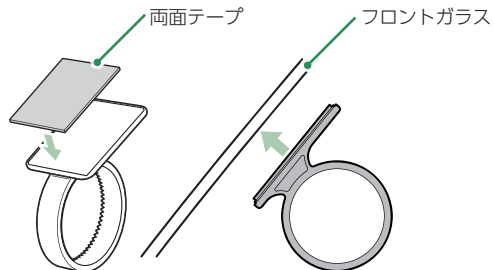
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

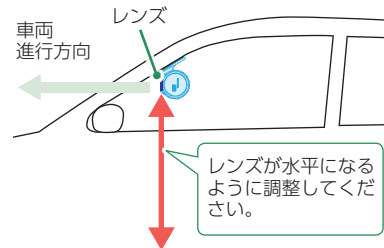


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

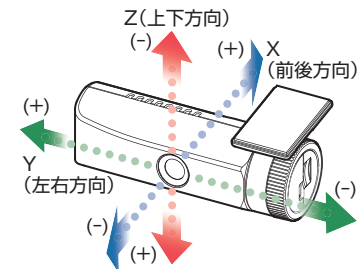
1-2 ブラケットに本体を装着し、レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



・GセンサーのX（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値は、レンズの向きが、車両進行方向と水平の状態で固定されています。

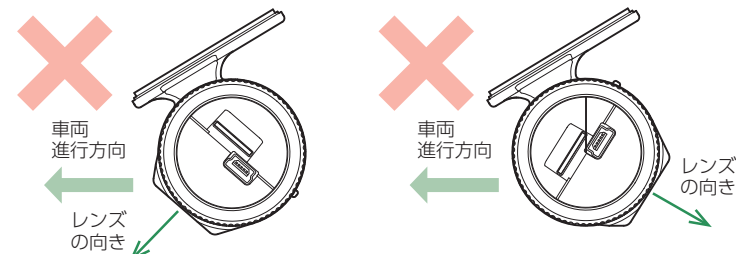
・Gセンサー記録とは…
☛ P.22「Gセンサー記録」

・Gセンサーの数値について

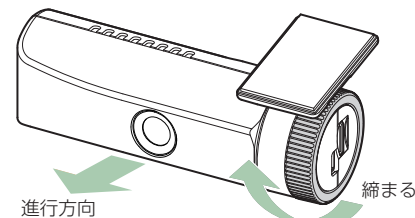


※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。触れてしまった場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。



1-3 ナットを締めて固定する

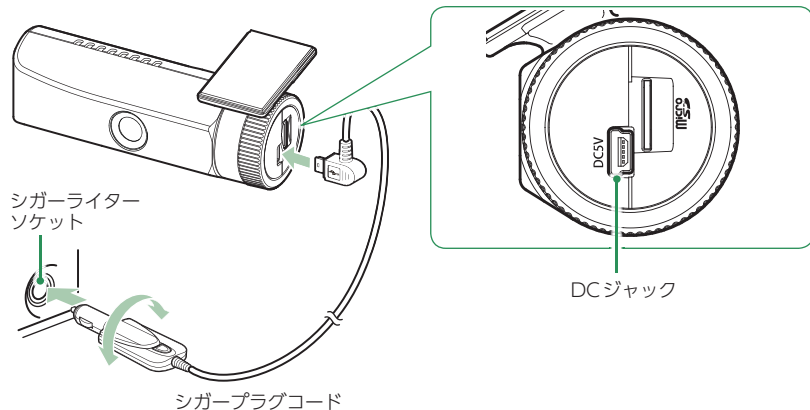


※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

2. 電源を接続する

付属のシガープラグコードを接続します。
※別売品で接続する場合は、(● P.31)を参照ください。

2-1 シガープラグコードを接続する



付属のシガープラグコードを本体のDCジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※付属のシガープラグコード、または別売品の電源直結コード、ACアダプター(● P.15[別売品])をご使用ください。

※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

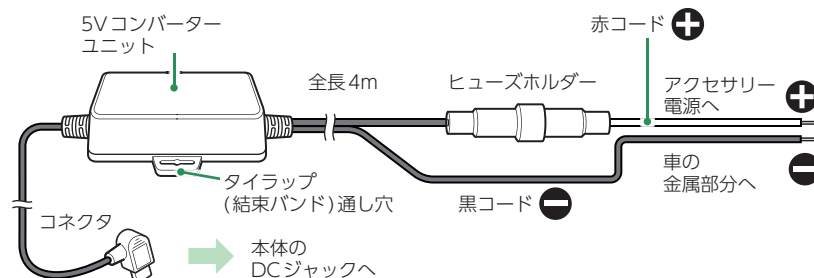
別売品の取り付け

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. 5Vコンバーター付電源直結コード(OP-E487)の接続方法

1-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードを本体のDCジャックと車両へ接続します。

※付属のシガープラグコード、または別売品の電源直結コード、ACアダプター(● P.15[別売品])をご使用ください。

※作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。

※電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

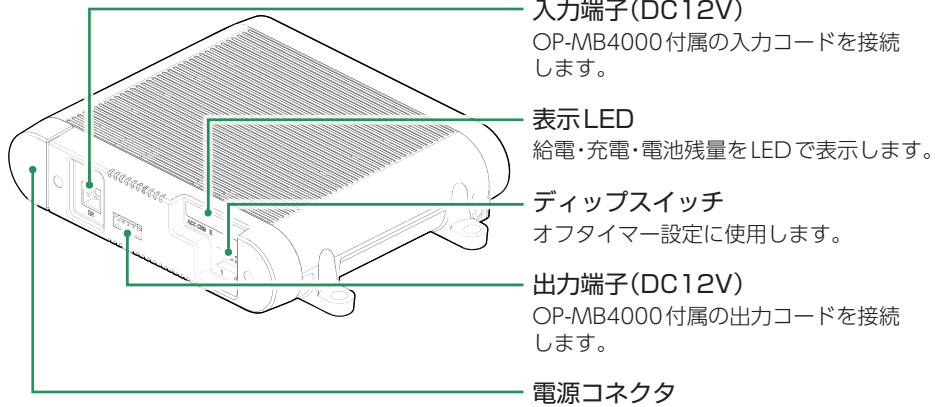
- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。

取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

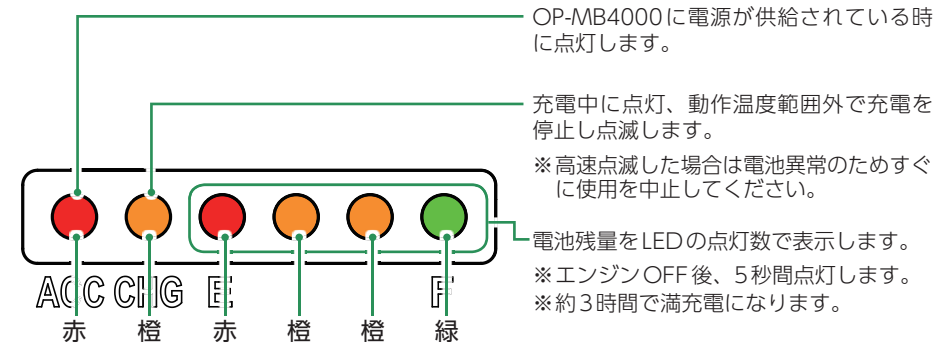
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて



⚠ 注意

OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。

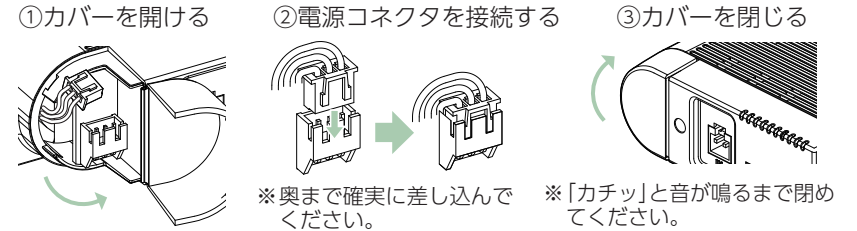
※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

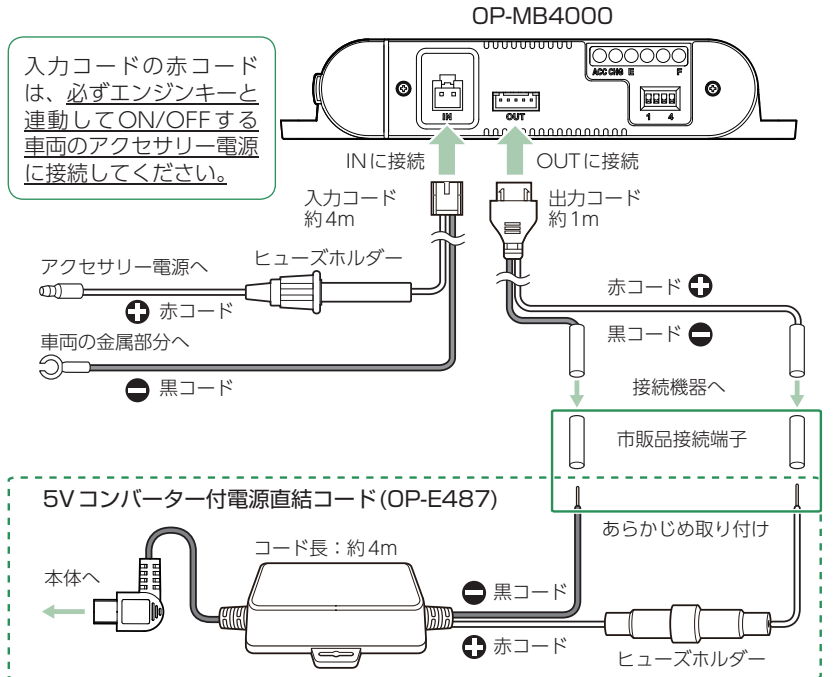
- ① OP-MB4000
- ② OP-MB4000 付属入力コード
- ③ OP-MB4000 付属出力コード
- ④ 5V コンバーター付電源直結コード^{※1}
- ⑤ 市販品接続端子

※1：付属のシガープラグコードは使用せず、別売品の5V コンバーター付電源直結コード(OP-E487)が必要になります。

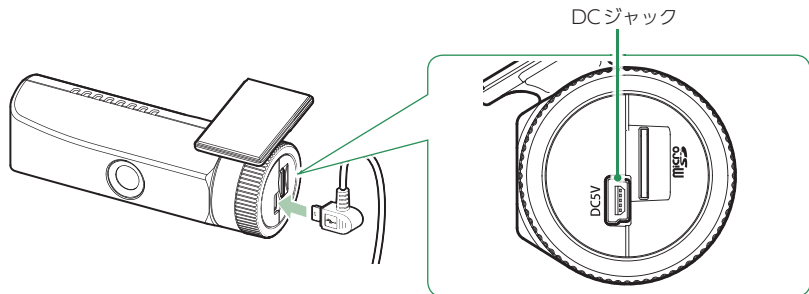
2-1 電源コネクタを接続する



2-2 OP-MB4000を車両に接続する



2-3 電源直結コードを接続する



別売品の電源直結コード (OP-E487) を本体のDC ジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-4 オフタイマー設定をする

エンジンOFF後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定 (オフタイマー設定) します。

お買い上げ時 (工場出荷時) のままでは、使用できません。エンジンOFF時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジンONした際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000内蔵電池が少なくなった場合にはOP-MB4000内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

■ オフタイマー設定



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を [使用しない (0時間)] に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

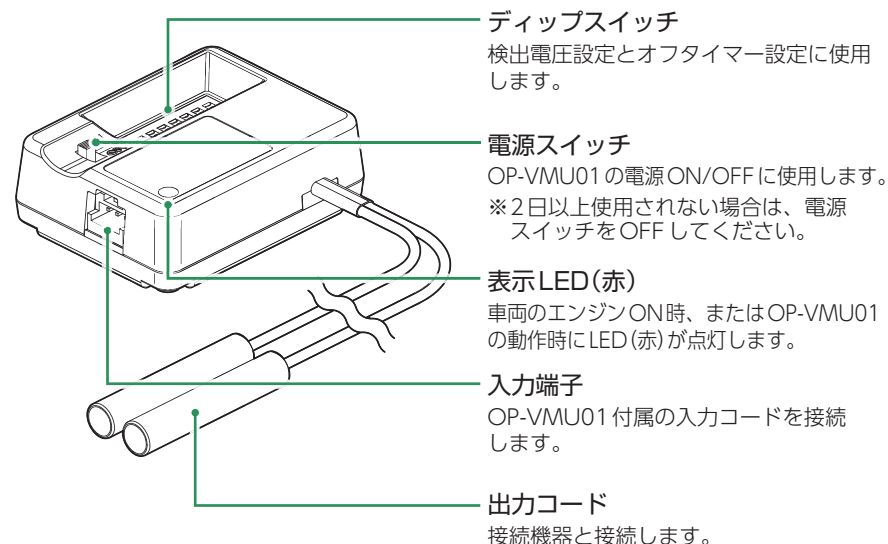
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

3. 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) の接続方法

■ OP-VMU01

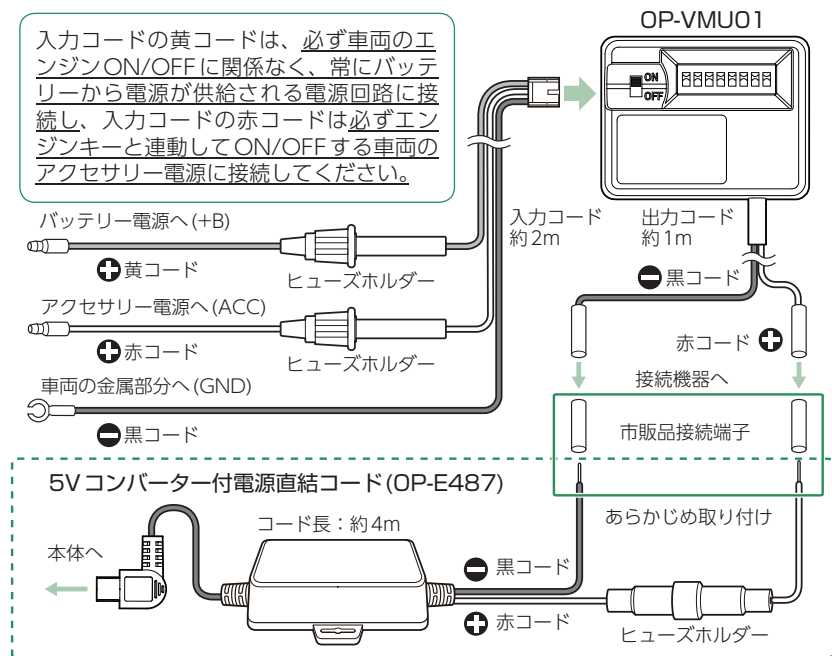


■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

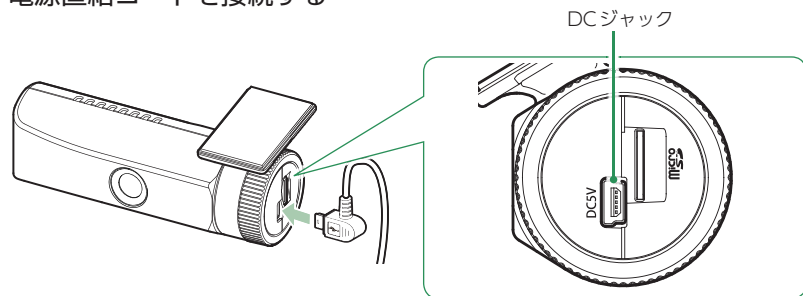
- ① OP-VMU01
- ② OP-VMU01 付属入力コード
- ③ 5V コンバーター付電源直結コード^{※1}
- ④ 市販品接続端子

※1: 付属のシガープラグコードは使用せず、別売品の5Vコンバーター付電源直結コード (OP-E487) が必要になります。

3-1 OP-VMU01 を車両に接続する



3-2 電源直結コードを接続する



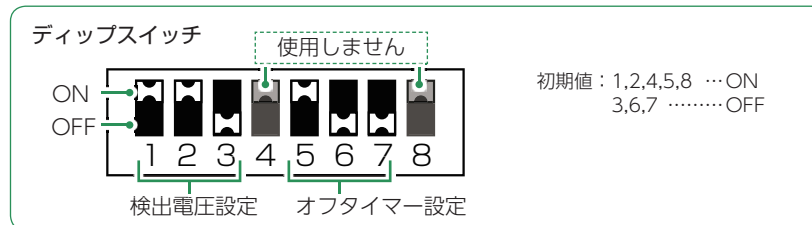
別売品の電源直結コード(OP-E487)を本体のDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

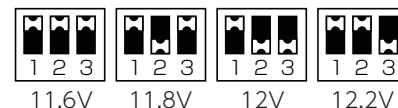
3-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※ディップスイッチの4, 8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定(1～3使用) 12V車



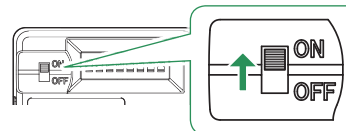
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-4 電源スイッチをONにする



3-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

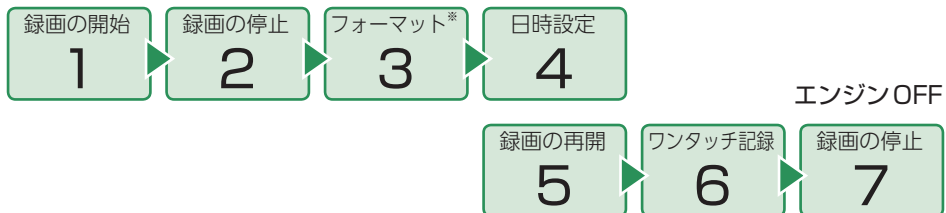
- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ~ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

エンジン ON

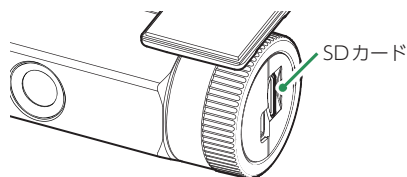


※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

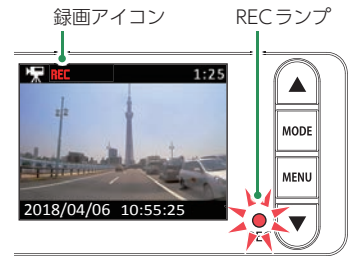
本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



- ・SDカードが挿入されていないときは…
- 電源 OFF であること (REC ランプ消灯と画面 OFF) を確認して、SDカードを挿入してください。
- P.16 「SDカードを本体へ装着する」

1-2 車両のエンジンを ON する



録画を開始します。
REC ランプが点灯し、録画アイコンが点滅します。

・REC ランプについて

ランプの状態	本機の動作
点灯	常時録画中
点滅	イベント記録中
消灯	上記以外

2. 録画を停止する

2-1 MENU ボタンを押す



録画を停止します。
※ 録画停止中は、REC ランプが消灯し録画アイコンが消えます。

3. SDカードをフォーマットする

必ず 1 ~ 2 週間に一度、フォーマットを行ってください。

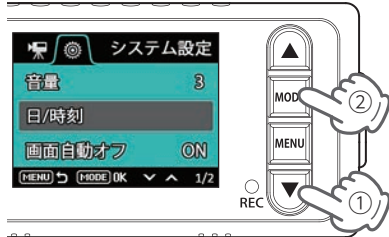
※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て消去されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。
・録画ファイルのバックアップ… ● P.52 「録画ファイルの読み出しについて」

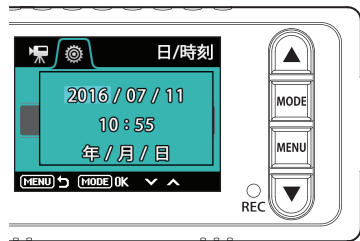
4. 日時を設定する

「日 / 時刻」を選択して、現在の日時を設定してください。
時刻はずれることがあります。時差が生じ始めたら、再度設定を行ってください。
※時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示にはできません。

4-1 ▼ボタンを押し、[日/時刻]を選択し、MODEボタンを押し



4-2 日付や時刻を設定する



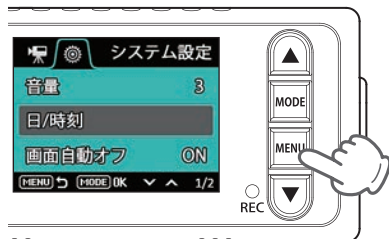
■ 日時設定時のボタンの機能

ボタン	機能
▲ボタン	値を増加します。
MODE ボタン	決定し次の項目に移動します。
MENU ボタン	前の画面に戻ります。
▼ボタン	値を減少します。
PROTECT ボタン	使用しません。

選択中の項目に白い背景を表示します。

※[年 / 月 / 日]では▲、▼ボタンを押すたびに表示順が変わります。
[年 / 月 / 日] → [月 / 日 / 年] → [日 / 月 / 年]

4-3 MENU ボタンを押す



システム設定メニューに戻ります。

5. 録画を再開する

5-1 MENU ボタンを押す



動画記録モードを表示します。

5-2 PROTECT ボタンを押す

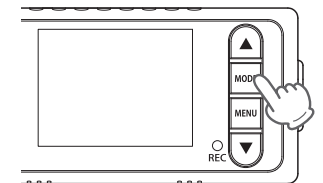


録画を再開します。
RECランプが点灯し、録画アイコンが点滅します。

画面を非表示にできます。

録画中にMODEボタンを押すと画面の表示/非表示が切り替わります。

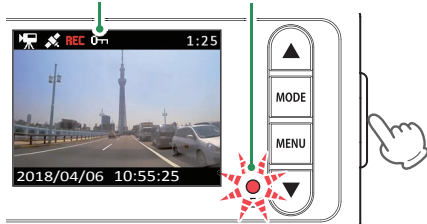
※画面OFF時は、▲▼ボタン、MENUボタンの操作はできません。



6. ワンタッチ記録をする

6-1 常時録画中に PROTECT ボタンを押す

イベント記録アイコン RECランプ



- ・ワンタッチ記録の詳細は…
 - ☛ P.22「イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)」

RECランプが点滅し、ワンタッチ記録ファイルを生成します。
※ワンタッチ記録ファイル作成後は、自動で常時録画に戻ります。

7. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキー連動して録画を停止します。

7-1 車両のエンジンをOFFする

録画が停止し、電源OFFになります。

設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 本機の電源ONを確認し、録画中の場合はMENUボタンを押して録画を停止する



※録画中は、設定メニューの表示ができません。

1-2 MENUボタンを押す



録画設定メニューを表示します。

- ・録画設定メニューの詳細は…
 - ☛ P.45「録画設定メニュー」

1-3 MODEボタンを押す



システム設定メニューを表示します。

- ※項目未選択の場合、MODEボタンを押すたびに、[録画設定メニュー]→[システム設定メニュー]に切り替えます。

- ・システム設定メニューの詳細は…
 - ☛ P.46「システム設定メニュー」

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 MENU ボタンを押す



2-2 PROTECT ボタンを押す



録画を再開します。
RECランプが点灯し、録画アイコンが点滅します。

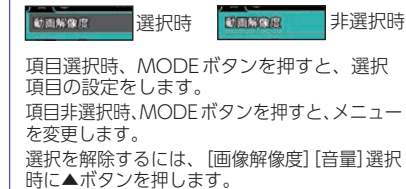
設定メニュー

設定メニューでは、本機の各種設定が行えます。

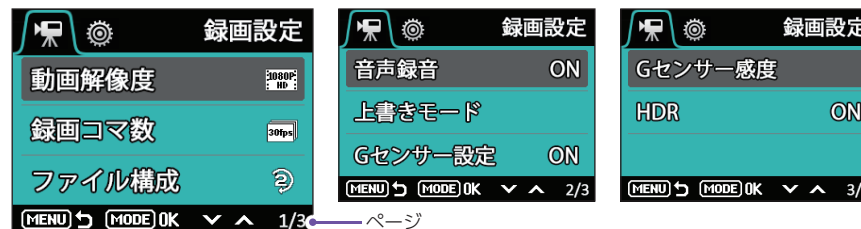
※設定メニューの表示方法は P.43 を参照ください。

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機能
▲ボタン	設定項目を選択したり、値を増加します。
MODE ボタン	メニューの切り替えや選択項目を決定します。
MENU ボタン	前の画面へ戻ります。
▼ボタン	設定項目を選択したり、値を減少します。
PROTECT ボタン	使用しません。



1. 録画設定メニュー



★は初期値です。

項目	設定	説明
動画解像度	1080P HD (★)	録画の解像度を設定します。
	1080P	1080P HD : 1920 × 1080
	720P	1080P : 1440 × 1080
	VGA	720P : 1280 × 720 VGA : 640 × 480
録画コマ数	30fps (★)	1秒あたりのコマ数を設定します。
	10fps	
ファイル構成	2分 (★)	録画ファイルを設定した長さで分割保存します。
	5分	
音声録音	ON (★)	音声録音のON/OFFを設定します。
	OFF	

項目	設定	説明
上書きモード	上書き禁止	上書きモードの説明は、P.23「上書きモードについて」を参照してください。
	常時録画上書き	
	全て上書き(★)	
Gセンサー設定	ON(★)	Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
	OFF	
Gセンサー感度	X:0.5～5.0G (1.0G★)	X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
	Y:0.5～5.0G (1.0G★)	
	Z:0.5～5.0G (1.0G★)	
HDR	ON(★)	HDR機能を使用するかON/OFFで設定します。
	OFF	

2. システム設定メニュー



★は初期値です。

項目	設定	説明
音量	1/2/3(★)/4/OFF	本機の音量を設定します。 ※音量は録画ファイル再生音、起動音、操作音、メッセージの音、静止画撮影時の音に反映されます。 ※音量を個別に設定することはできません。
日/時刻	-	日付や時刻を設定します。
画面自動オフ	1分後/3分後/常時ON(★)	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的にOFFします。 ※画面を再度表示したい場合は、MODEボタンを押してください。
SD初期化	キャンセル	SDカードを初期化(フォーマット)します。(P.12) 録画ファイルがすべて消去されます。
	実行	
設定初期化	キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
	実行	
バージョン	-	ファームウェアのバージョンを表示します。

※ファイル編集画面のシステム設定メニューも同じ項目です。(P.50)

再生方法

1. 本機で録画ファイルを再生する

1-1 再生モードを表示する



・再生モードを表示するには…
P.19「モード変更のしかた」

1-2 ▲▼ボタンを押し、再生したいファイルの記録方法を選択して PROTECT ボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。

・静止画を確認する場合
静止画フォルダは再生モードの2ページ目に表示します。▲▼ボタンでページを切り替えてください。



<フォルダ選択画面 2ページ目>

1-3 ▲▼ボタンを押し、再生したいファイルを選択して PROTECT ボタンを押す



録画ファイルを再生します。

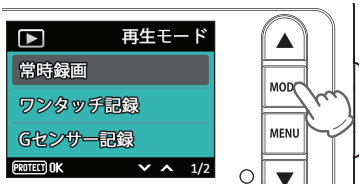
2. 録画を再開する

2-1 MODE ボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。

2-2 ファイル選択画面でMODE ボタンを押す



フォルダ選択画面を表示します。

2-3 MODE ボタンを押す



動画記録モードを表示します。

2-4 PROTECT ボタンを押す



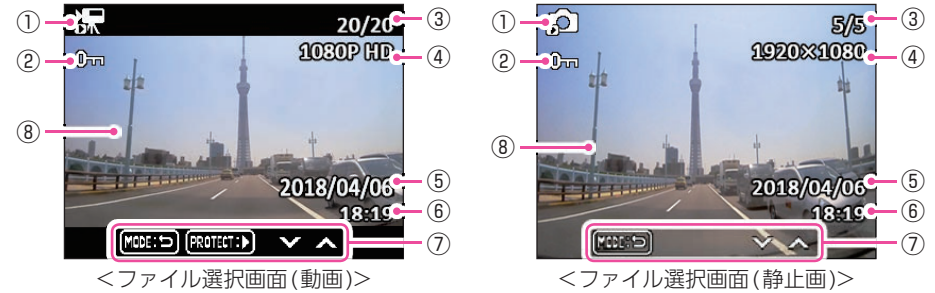
録画を再開します。
REC ランプが点灯し、録画アイコンが点滅します。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルや記録した静止画ファイルを本機上で再生したり、ファイルの保護や消去が行えます。

※再生モードの表示方法は P.47 を参照ください。

1. 再生画面について



No.	表示名	説明
①	ファイルアイコン	常時録画を選択・再生時に表示します。
		ワンタッチ記録を選択・再生時に表示します。
		Gセンサー記録を選択・再生時に表示します。
		静止画を再生時に表示します。
②	ファイル保護	保護したファイルに表示します。(P.50)
③	ファイル情報	「表示されている画像の番号」/「記録方法別の全体数」を表示します。
④	解像度	動画または静止画の解像度を表示します。(P.45)
⑤	記録日付	ファイルを記録した日付を表示します。
⑥	記録時刻	ファイルを記録した時刻を表示します。
⑦	操作アイコン	操作ボタンの機能を表示します。
⑧	記録映像	記録した動画または静止画を再生または表示します。
⑨	ファイル時間	再生時間を表示します。

再生画面のボタンの機能

ボタン	機能
▲ボタン	ファイル選択時は、前のファイルを表示します。 ファイル再生時は、巻き戻しします。(x-2、x-4、x-8)
MODEボタン	前の画面へ戻ります。
MENUボタン	ファイル編集画面を表示します。 (録画ファイル選択時または静止画ファイル再生時のみ)
▼ボタン	ファイル選択時は、次のファイルを表示します。 ファイル再生時は、早送りします。(x2、x4、x8)
PROTECTボタン	録画ファイルを再生/一時停止します。

2. ファイル編集画面について

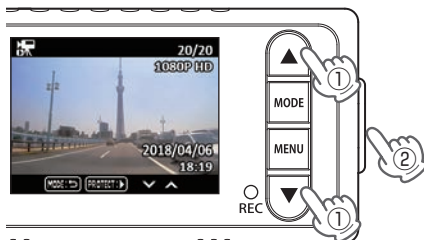
ファイル編集画面では、ファイルを保護・消去できます。

2-1 再生モードを表示する



・再生モードを表示するには…
☛ P.19「モード変更のしかた」

2-2 ▲▼ボタンを押し、編集したいファイルの記録方法を選択してPROTECTボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。

2-3 ▲▼ボタンを押し、編集したいファイルを選択してMENUボタンを押す



ファイル編集画面を表示します。

※項目非選択時にMODEボタンを押すとシステム設定メニューを表示します。(☛ P.46)



<システム設定メニュー>

項目	設定	説明
ファイル保護	保護	選択中の録画ファイルを保護します。
	保護解除	選択中の録画ファイルを保護解除します。
	全保護	選択中のフォルダのすべての録画ファイルを保護します。
	全保護解除	選択中のフォルダのすべての録画ファイルを保護解除します。
ファイル消去	消去	選択中の録画ファイルを消去します。
	全消去	選択中のフォルダのすべての録画ファイルを消去します。

※保護した録画ファイルは、本機の「消去」「全消去」では消去できません。保護を解除する(☛ P.50)か、SDカードをフォーマットすることで消去できます。(☛ P.12)

ファイル編集画面のボタンの機能

ボタン	機能
▲ボタン	設定項目を選択します。
MODEボタン	選択項目を決定します。 項目未選択の場合、システム設定メニューを表示します。(☛ P.46)
MENUボタン	前の画面へ戻ります。
▼ボタン	設定項目を選択します。
PROTECTボタン	使用しません。

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した画像や映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

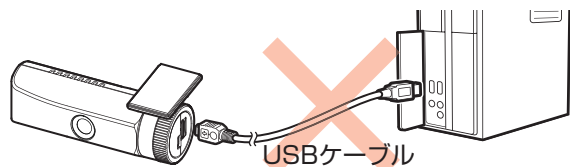
OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU: Core2Duo相当、2.0GHz以上

メモリ : 2GB 以上

推奨の再生ソフト : Windows Media Player (Windows 標準)*1

*1: Windows7は現在最新版のバージョン(12.0.XXX)でご使用ください。(2017年10月現在)



※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本機とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

本機からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

記録した日時、ファイル番号がファイル名となります。

例) 0001 0001-20180118 1104 . MOV

- ① : 続きから+1します。(0001 ~ 9999の範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。)
- ② : 毎回0001から+1します。(0001 ~ 9999の範囲内で記録した順に本機で自動設定されます。)
- ③ : 記録年月日
- ④ : 記録を開始した時間
- ⑤ : 動画拡張子(静止画の場合は、「JPG」になります。)

■ フォルダ構造について

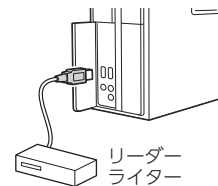
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

- NOML ————— 00010001-20171001_1104.MOV
- EVGS ————— 00030026-20171001_1359.MOV
- EVSW ————— 00120133-20171001_1623.MOV
- PICT ————— 00070064-20171001_1900.JPG

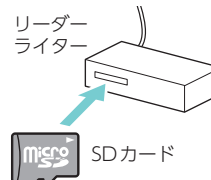
1. SDカードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

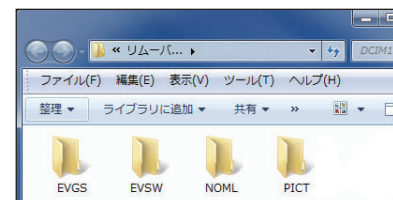


※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SDカードをリーダーライターに接続する

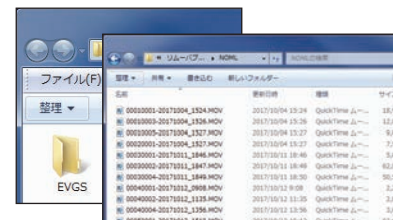


1-3 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について
常時録画…[NOML]フォルダ
Gセンサー記録…[EVGS]
ワンタッチ記録…[EVSW]フォルダ
静止画…[PICT]フォルダ

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

こんなときは

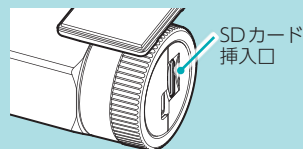
※下記のメッセージが頻繁に表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

メッセージ

対処方法

 SDカードがありません


- SDカードが正しく挿入されていますか。(● P.16)




- SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。

- ・記録媒体：microSDHC カード
- ・容量：8～32GB
- ・SDスピードクラス：Class10以上

- 本機でSDカードをフォーマットしてください。
フォーマットを行うと、保護したファイルも全て消去されます。
必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(● P.12)

 ファイルがありません


- 再生モードで選択したフォルダにファイルがありません。
ファイルがあるフォルダを選択するか、動画または静止画が保存されてから再生してください。

 ファイルを再生できません

- 壊れたファイルを再生しようとしています。
このファイルは再生することができません。消去してください。

 保護したファイルです

- 保護したファイルを消去しようとしています。

保護したファイルは、消去できません。保護を解除する(● P.50)か、SDカードをフォーマットする(● P.12)ことで録画ファイルをすべて消去することができます。保護したファイルには、再生モードのファイル選択画面上でアイコンを表示します。



メッセージ


 SDカード容量がいっぱいです

- 上書きモードを[常時録画上書き]または[全て上書き]にしてください。

上書きモードを[常時録画上書き]または[全て上書き]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達しても、古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(● P.45)

- 保護したファイルを解除してください。


上書きモードを「常時録画上書き」に設定した場合、保護したファイルは上書きできません。保護を解除(● P.50)してください。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(● P.45)

保護したファイルには、再生モードのファイル選択画面上でアイコンを表示します。




- 本機でSDカードをフォーマットしてください。


フォーマットを行うと、保護したファイルも全て消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(● P.12)

 SDをフォーマットしてください

- 本機でSDカードをフォーマットしてください。
フォーマットを行うと、保護したファイルも全て消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(● P.12)

 ワンタッチ記録容量がいっぱいです

- 上書きモードを[全て上書き]にしてください。
上書きモードを「全て上書き」に設定した場合、常時録画、イベント記録共にSDカード容量の上限に達した際は、古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(● P.45)

 Gセンサー記録容量がいっぱいです

- ワンタッチ記録ファイルまたはGセンサー記録ファイルを消去してください。

イベント記録がSDカード容量の上限に達しています。再生モードでファイルの保護を解除してから消去してください。(● P.50)

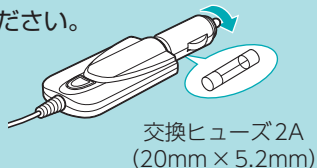
- 本機でSDカードをフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、保護したファイルも全て消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(● P.12)

故障かな？と思ったら

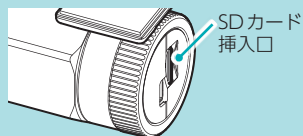
電源がONにならない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



映像が記録できない

- SDカードが正しく挿入されていますか。
(☛ P.16)



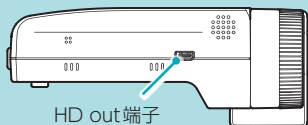
- 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する (☛ P.50) か、SDカードをフォーマットする (☛ P.12) ことで録画ファイルをすべて消去することができます。保護したファイルには、再生モードのファイル選択画面上で🛡️アイコンを表示します。



<ファイル選択画面>

- HD out端子にケーブルが接続されていませんか。



モニター画面に斑点や輝点がある

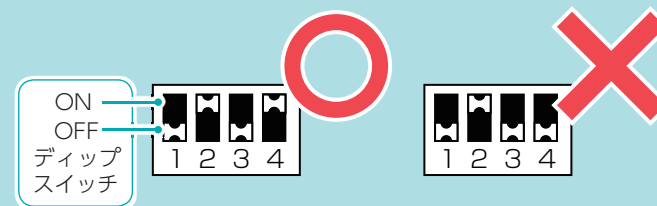
- 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

イベント記録ファイルが生成されない

- 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(☛ P.22「常時録画」)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(☛ P.33)
- オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
例：オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- 電源スイッチはONになっていますか。
OFFになっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(☛ P.37)
- オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.37)

仕様

外形寸法 (突起部除く)	103(W) × 35(直径)mm(突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時50(H)mm(窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	約62g(microSDカード含む)
記録媒体	microSDカード(8GB付属) 8GB～32GB(Class10以上)
撮像素子	200万画素カラーCMOS(STARVIS™技術搭載*2)
レンズ画角	対角140°(115°(水平)、60°(垂直))
最大記録画角*1	対角130°(110°(水平)、60°(垂直))
記録解像度	最大200万画素
	動画:1080P HD(1920×1080)/1080P(1440×1080)/ 720P(1280×720)/VGA(640×480) 静止画:1920×1080
GPS	無
Gセンサー	有 0.5G～5.0G(0.1G単位で感度調整可能)
記録方式	常時録画/イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>)
録画ファイル構成	常時録画:5分単位、2分単位 イベント記録(ワンタッチ記録・Gセンサー記録):20秒単位
画面サイズ	1.5インチ フルカラー TFT液晶
音声	ON/OFF可能
フレームレート	30コマ/秒、10コマ/秒
映像ファイル形式	動画:MOV 静止画:JPEG
記録映像 再生方法	Windows標準のWindows Media Player
電源電圧	DC12V マイナスアース車専用(5V入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	0℃～+60℃
製品保証期間	1年(消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1:解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2:STARVIS(スタービズ)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサー向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

別売品:マルチバッテリー(OP-MB4000)

入力電圧	DC12V(最大6A)
出力電圧	出力端子B:12V(1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0～45℃
外形寸法	144(W)×33(H)×131(D)mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

別売品:電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)

入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V(入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車:11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車:23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	-10～60℃
外形寸法	46(W)×36(H)×16(D)mm(突起部除く)
本体重量	約34g

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

・STARVISは、ソニー株式会社の商標です。

microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

※録画コマ数:30コマ/秒の場合

microSDカード容量	1080P HD	1080P	720P	VGA
32GB	約320分	約480分	約640分	約960分
16GB	約160分	約240分	約320分	約480分
8GB(付属品)	約80分	約120分	約160分	約240分

・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

・録画時間は、常時録画とイベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)の全ての録画時間の合計です。常時録画を記録できる時間は、上記値の約60%です。(● P.21「各記録方法のファイル容量の目安」)

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度(● P.45)により録画可能時間は変化します。

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書は随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

索引

記号

▲ボタン	14, 45, 50, 51
▼ボタン	14, 45, 50, 51

A

ACアダプター	15
---------	----

D

DCジャック	13
--------	----

G

GPS	58
Gセンサー	58
Gセンサー感度	22, 46
Gセンサー記録	22
Gセンサー設定	46

H

HD out 端子	13
HDR	46
HDRアイコン	17

M

MENUボタン	14, 17, 18, 45, 50, 51
MODEボタン	14, 17, 18, 45, 50, 51

O

OP-E368	15
OP-E487	15, 25, 31
OP-MB4000	15, 25, 32, 58
OP-VMU01	15, 25, 35, 59

P

PROTECTボタン	14, 17, 18, 50
------------	----------------

R

RECランプ	13, 39
--------	--------

S

SDカード	14, 16, 59
SDスピードクラス	59
STARVIS	58

あ

アフターサービス	60
----------	----

い

イベント記録	21, 22
イベント記録アイコン	17

う

上書き禁止	23
上書きモード	23, 46

え

映像ファイル形式	58
----------	----

お

お客様ご相談センター	60
音声	58
音声録音	45
音量	46

か

外形寸法	58
解像度	17, 49
画面サイズ	58
画面自動オフ	46

き

記録解像度	58
記録可能時間	17
記録時間	17
記録媒体	58, 59
記録方式	58

さ

再生方法	58
最大記録画角	58
撮影可能枚数	18
撮影素子	58

し

シガープラグコード	14, 25, 30
システム設定メニュー	46
常時録画	21, 22
常時録画上書き	23, 24
消費電力	58
シリアルナンバー	13

す

スピーカー	13
全て上書き	23, 24

